

国立病院機構 福山医療センター レジメン登録・管理表

レジメン名称	胃癌 Ramucirumab+CPT-11療法		臨床区分	抗癌剤適応分類	登録日	2023年7月5日
疾患名	胃癌		<input checked="" type="checkbox"/> 日常診療 <input type="checkbox"/> 単施設自主研究 <input type="checkbox"/> 他施設自主研究 <input type="checkbox"/> 市販後臨床研究 <input type="checkbox"/> 治験	<input checked="" type="checkbox"/> 進行・再発化学療法 <input type="checkbox"/> 術後化学療法 <input type="checkbox"/> 術前化学療法 <input type="checkbox"/> 局所療法 <input type="checkbox"/> その他	1クール期間	14日
診療科名	消化器内科				実施回数	/回
登録医師名	上田 祐也					
適応	HER2(-)、進行再発胃癌の二次治療以降					

Rp	薬品名称	標準投与量	単位	投与方法	ルート	投与時間	投与日										注意コメント	
							day1	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
1	レスタミンコーワ錠10mg	5	錠	経口			●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	サイラムザ投与開始30分前までに内服
2	生理食塩液	100	mL	点滴静注	メイン		●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	血管確保用 ※開始から終了までECGモニターを装着すること
3	グラニセトロン点滴静注液3mgパック デキササート注射液 6.6mg	1 1.5	袋 瓶	点滴静注	メイン	30min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	レスタミンと同時投与（レスタミン内服不可患者には医師に確認）
4	生理食塩液 サイラムザ点滴静注液	適宜調製 8	mL mg/kg	点滴静注	メイン	60min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1) フィルター付き点滴セット使用 2) 投与速度：25mg/minを超えないこと 3) 1クール目、2クール目は終了後1時間観察すること※3クール以降は省略可 4) 投与前後で生理食塩液でラインをフラッシュすること 5) 全量250mLに調製する
5	生理食塩液 イリノテカン点滴静注液	500 150	mL mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	メイン	90min	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

備考欄  
ガイドラインでの条件付きで推奨される化学療法レジメン  
開始前にUGT1A1遺伝子多型を確認すること

減量・中止基準  
UGT1A1遺伝子多型がホモ接合体またはダブルヘテロの場合にはイリノテカンを120mg/m<sup>2</sup>へ減量する。

文献  
胃癌治療ガイドライン 第6版  
Phase II Study of Ramucirumab Plus Irinotecan Combination Therapy as Second-Line Treatment in Patients with Advanced Gastric Cancer: HGCSG1603